



不動窯陶芸クラブ会長  
佐々木 平雄さん

発足10年目を迎える不動窯陶芸クラブは、現在会員14人で楽しく陶芸活動を行っています。会員の平均年齢は高いですが、若い人などにも参加してもらい、お互いの活躍の場になればと思っています。



〜キーンと目をこめ、サークルの団体を紹介します!!

# スマイルライフ

3

## 不動窯陶芸クラブ (津山)

不動窯陶芸クラブは、平成11年に津山や近隣の陶芸愛好家を中心となり結成され、今年で設立10年目を迎えます。

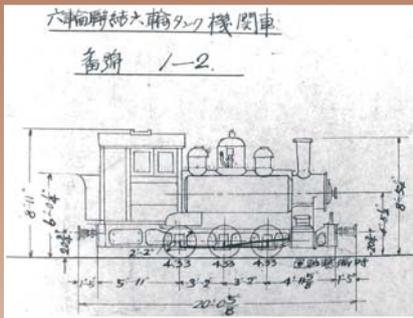
クラブでは、道の駅もくもくランドでの展示販売や陶芸教室(上記写真)への運営協力をしているほか、平成12年には、クラブとして初めてアマチュア陶芸展へ出品。その後は、河北工芸展などへ毎年積極的に出品していています。設立10年目の今年は、これまでの軌跡をたどる記念事業を計画していて、津山地区文化祭(10月31日・11月1日)で、作品を一同に集めた「不動窯陶芸クラブ展」を開催する予定です。

### 【問い合わせ】

津山総合支所 地域生活課  
☎ 0225 (68) 3112

歴史博物館

## 広報ミニ展示室 40 =仙北鉄道車両竣工図表=



機関車の設計図面。1日から博物館で展示しています  
大正時代、東北本線と連絡して米などの農産物の輸送や旅客輸送を目的に、築館―瀬峰―登米間を走り「軽便っこ」という愛称で親しまれていた仙北鉄道。大正10年10月の開通時には、機関車にアメリカ製の六輪連結タンク機関車、客車は日本車両製造株式会社のボギー並等車(並等30人、立席12人)などが使用されました。この車両竣工図表には、大正時代から廃線までの間使われてきた車両がまとめられていて、当時使用された車両を知ることのできる貴重な資料となっています。

## 混迷の時代を生きる

# 「命」の重さ

～私の取材ノートから～

平成21年度  
人権を考える  
講演会



講師 江川 紹子 さん

【プロフィール】1958年東京都杉並区生まれ。1982年早稲田大学政経学部卒業後、神奈川新聞社入社。1995年「菊池寛賞」受賞、1996年「編集者が選ぶ雑誌ジャーナリズム賞」受賞。坂本堤弁護士一家の拉致事件以来、オウム真理教問題にかかわり、一貫して「事実」を究明する。またその一方で、島原雲仙普賢岳の災害現場も取材するなど、多方面で活躍。現在、熊本日日新聞でコラム『江川紹子の視界良好』、受験ジャーナルで『新聞を読もう!』を連載中。TBS「サンデーモーニング」、テレビ朝日「やじうまプラス」などでコメンテーターを務める。

- 日 時 平成21年8月30日(日) 午後2時～※開場午後1時
- 場 所 登米祝祭劇場(大ホール)
- 入場料 無料(全席自由)※整理券必要
- 整理券 各総合支所窓口または市民生活部市民生活課で、8月3日(月)から配布しています(郵便では受け付けしません)。
- 内 容 フリージャーナリストの江川紹子さんが『「混迷の時代を生きる命の重さ」～私の取材ノートから～』と題して、時事問題をもとに人命や人権の尊重についてお話しいたします。
- 問い合わせ 市民生活部市民生活課  
☎ 0220 (58) 2118 FAX 0220 (58) 3345



モバイルとめ  
<http://www.city.tome.miyagi.jp/m/>



登米市メール配信サービス登録  
[tome@entry.mail-dpt.jp](mailto:tome@entry.mail-dpt.jp) (携帯用)